

事業概要シート

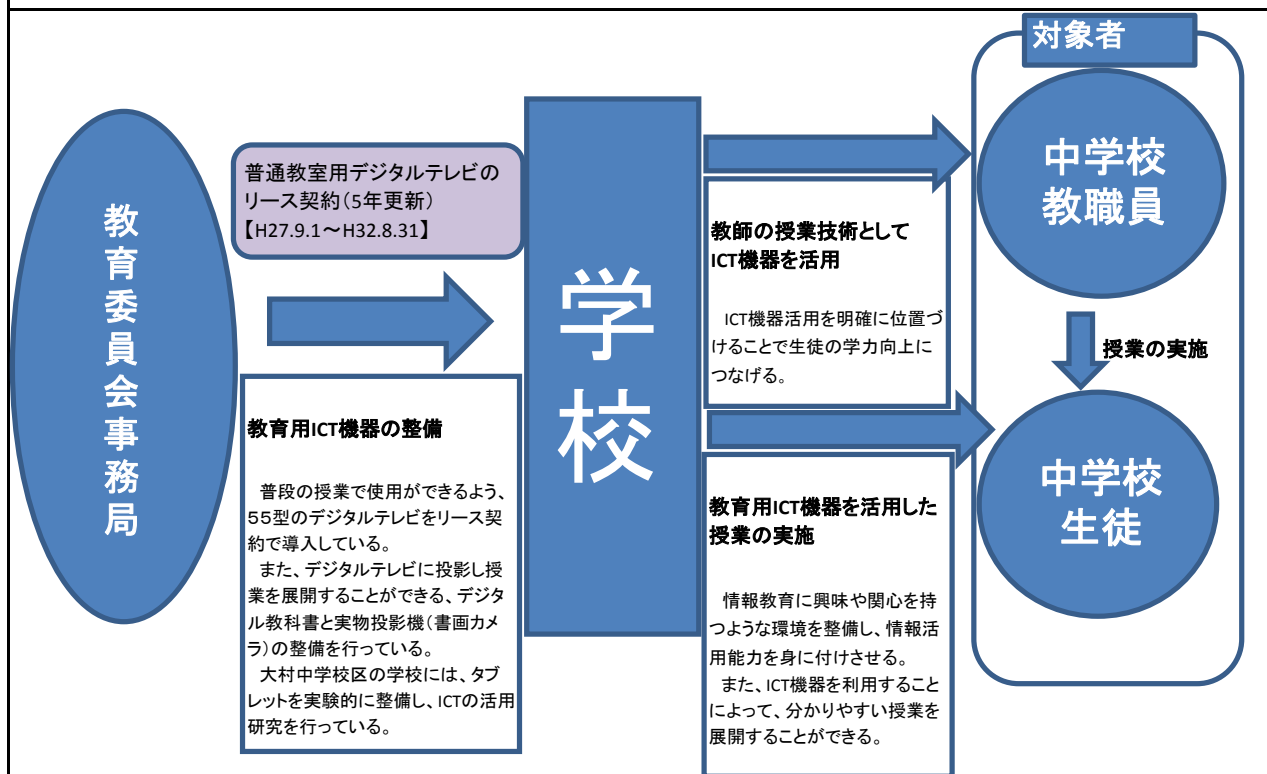
施策 0202 小・中学校教育の充実

<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	中学校教育用ICT機器活用事業	現状維持	予算額	2,022 千円
				≪ 2,022 ≫千円
事業期間	平成26年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	中学校学習指導要領		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	2,022 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者 市内の中学校6校の生徒及び教職員
- 目的 教師の授業技術としてICT機器活用を明確に位置づけることで生徒の学力向上につなげる。
- 事業概要 デジタルテレビと実物投影機を市内中学校全普通教室に1台ずつ整備し、普段の授業で活用できるようにする。
 ICT機器を活用した授業等が円滑に進むよう、ICT機器の整備やメンテナンス、デジタル教材の整備及びICT機器活用に関する研修等の講師を務めるICT支援員を配置する。



【背景】

学習指導要領の総則及び学習指導要領解説総則編において、教師がICT機器の適切な活用を図ることについて記述されている。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	江浪 俊彦
担当者	坂上 大晃	問合せ先	0957-53-4111(内線379)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ICT機器（実物投影機等）の整備台数	台	11	66	無	未定	未定
②	ICT機器（デジタル教科書等）の整備台数	教科	国語 数学 外国語	無	無	国語 数学 外国語	未定

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ICT機器を活用した授業がわかりやすいと答えた生徒の割合	%	73.2	92	90	90	90
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	6,262	6,306	2,022	2,022	2,022	2,022	20,656
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	6,262	6,306	2,022	2,022	2,022	2,022	20,656
人件費	759	807	847	847	847	847	4,955
職員(人)	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.60人
時間外勤務(h)	16h	40h	60h	60h	60h	60h	296h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	7,021	7,113	2,869	2,869	2,869	2,869	25,611

妥当性 (市の関与)	学習指導要領の総則及び学習指導要領解説総則編において、教師がICT機器の適切な活用を図ることについて記述されているため、学校設置者が整備する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	情報社会の発展などの社会の変化を踏まえた特色のある教育活動である。
効率性 (コスト)	デジタル教科書やタブレット等のICT機器の整備は他団体等の実証結果や市内学校の実情等を踏まえ、必要性等考慮し事業を展開していく。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--